

19 東京大学

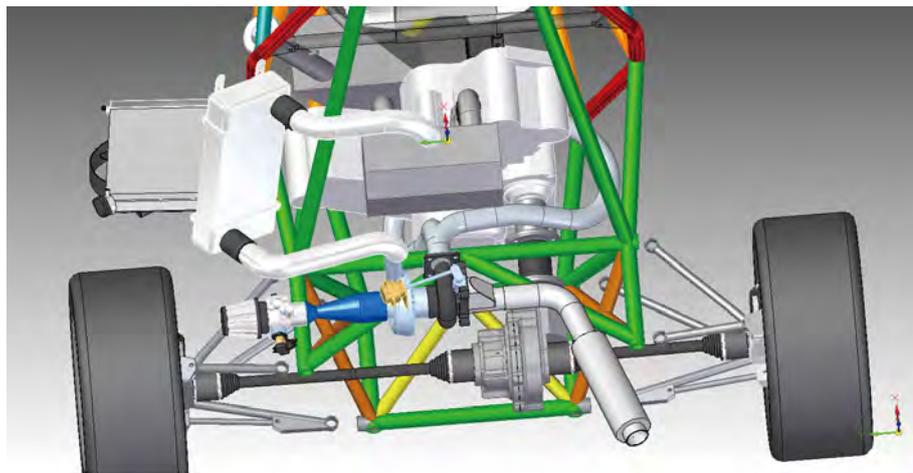
The University of Tokyo

東京大学フォーミュラファクトリー

University of Tokyo Formula Factory

<http://utfactory.com/>

第13回大会を終えて



今回の総合結果・部門賞

●総合81位

Profile チーム紹介・今までの活動

東京大学フォーミュラファクトリーは2003年に発足し、学部2年から4年を中心に活動しています。総合大学である強みを生かして、文理を問わず自分の興味・専門分野に応じて作業を分担しています。また、チームコンセプトを「モノを造る人を創る」として、各メンバーの成長をめざしています。

Team-member チームメンバー

小林 颯 (CP)

草加浩平 (FA)

伊藤 陽、下村 勇貴、依田 聡、堀口 翔太、竹内 悠、菅野 恵太、小林 颯、鴻野 友継、Panigrahi Abhishek、奥村 有紗、福沢 健、浅野 敦史、野崎 悦、畑上 純太郎、彦坂 晃太郎、松原 元気、園部 宏和、Larsen Mathias

Presentation

プレゼンテーション

車両のコンセプトは「低中速域での旋回性・加速性の向上」としました。これは、大会での好成績に不可欠なエンデュランス審査において高得点を得るためにコースを分析した結果から導かれたものです。このコンセプトのもとV2エンジン縦置き・シャフトドライブ・10インチホイールのパッケージの車両を開発してきました。

昨年の反省から、エンジン出力不足が大きな課題だと考え、ターボ化を含めたさまざまな検討を行ってきましたが、チームメンバーの減少が大きく活動に響き、新車両を大会までに完成させることができませんでした。

スポンサーの方々や大会関係の方々などには多大な迷惑とご心配をおかけして申し訳ありませんでした。今後はチーム体制を考え直し、またより良いマシンをもって大会会場へ帰ってきたいと思っています。

Participation report

参戦レポート

今年度は大会までに車両が完成しなかったため、動的審査に参加することができませんでした。また静的審査の中でも、車両が必要なデザイン審査・コスト審査も当日審査を棄権することになり、プレゼンテーション審査のみの参加になりました。プレゼンテーション審査では、シニア世代を対象にレーシングカーの組立・運転環境を提供するというコンセプトでプレゼンテーションを行ないましたが、市場分析やその他詳細の検討が充分でないことを指摘されました。

審査イベントの他にも、コスト審査およびプレゼンテーション審査のフォローアッププログラムに参加し、さまざまなノウハウやアドバイスをいただくことができました。教えていただいたことを無駄にしないよう、チーム一同努力していく所存です。

Sponsors スポンサーリスト

アールケー・ジャパン、IDAJ、IHI、アルテクノ、石川特殊特急製本、井上ボーリング、NTN、エフ・シー・シー、NOK、エンジニア、オーファ、加藤カム技研、金子歯車工業、キノクニエンタープライズ、協和工業、グラーツ、神戸製鋼、サイバネットシステム、サンケン、三恵工業所、三共、昭和飛行機工業、シリコンセンシングシステムズジャパン、スズキ、ゼット・エフ・ジャパン、ダウ化工、ダイヤモンドエンジニアリング、タカタ、チノー、THK、東亜ディーケーケー、東鋼、新日鉄住金化学、東洋測器、東邦テナックス、ナオックス、日信工業、日東紡績、日本ウェーテック、日本ユテック、日本自動車大学校、日置電機、BASFジャパン、ファーストモルディング、不二WPC、フジクラ、フチノ、フューチャーテクノロジー、ブリッツ、ブレニー技研、UACJ、ボッシュ、丸一鋼管、ミスミ、水戸工業、美々卯、ムトーエンジニアリング、メイラ、ヤマテ工業、やまと興業、ヤマハ発動機、UDトラックス、ヨシムラジャパン、依田フリーイング、ロックファスター、和光ケミカル、AVO MoTeC Japan、オリジナルボックス、関東工業自動車大学校、テクニカルプロショップ単車屋、東京大学生産技術研究所試作工場